

みなさんは、「為せばなる」という慣用句を知っていますか。できそうにないことでもその気になってやり通せば、必ず成就するという意味のことを説いた慣用句です。

ぼくはこの慣用句のような体験をしたことがあります。その体験とは、塾での出来事です。先生が、五分で三十個の英単語を覚えろと言っていました。ぼくは、初めは、そんなの無理だろうと思っていました。五分間少し真剣になって覚えてみたら、全部覚えることができました。

このような体験からも、「為せばなる」という慣用句は、的を射ているものだと思います。みなさんも、これからの生活で、できそうにもないなと諦めそうになったときに、この慣用句を思い出して、ぜひ頑張ってみてください。

次に僕は、「石に立つ矢」という慣用句を紹介します。この慣用句の意味は、一心に思いをこめて事に当たれば、どんなことでも成就すると

いうことです。

僕は今回の慣用句を調べる授業の中で、この慣用句に出会いました。僕は、あまり集中力がなく、この慣用句みたいなことなんて経験がなかったので、調べたときは疑心暗鬼の状態でした。そこで、経験がないなら経験してみようと思いました。僕はいつも勉強しながらテレビを見て、ゲームをしたりしているので、それをやめて、勉強やゲームだけを集めてやってみました。すると、勉強ではいつもより効率よくできて、ゲームもいつもより進めることができました。僕は、集中するとうまくできるものだと感動しました。

僕は今回、色々と慣用句を調べてみて、慣用句には私たちの生活に密着したものが多く感じました。普段の何気ない行為や思いに対する慣用句には共感を感じるものが多く、おもしろいなと思ったので、これから様々な慣用句を調べてみたいと思います。

